

新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型TYPE1) 効果検証

事業名	個別最適化学習の推進事業
実施年度	令和7年度
事業所管課	教育研究所

事業概要
本事業は、市教育基本調査における、「学力別の指導の実施」を希望する保護者の意見等を踏まえ、AIドリルと授業支援ソフトを導入することにより、児童生徒一人ひとりの学習を支援し、個別最適な学びの実現を目指します。AIが習熟度を分析し、最適な学習内容を提供することで、学習意欲を高め、ICT活用スキル向上を促進し、従来の一斉授業では、個別ニーズへの対応が難しく、学習意欲の低下やICT活用スキルの不足が課題でしたが、本事業を通して、学校内外における学習習慣の定着を図り、地域全体の教育水準向上や地域課題の改善に貢献します。

■推進体制・構成員

名称・団体名	事業における役割
綾瀬市	事業計画の立案、事業全般の管理・実行 「綾瀬市総合計画外部評価委員会」での評価・運用向上
ベネッセコーポレーション	システムの提供・アカウント登録
富士通Japan株式会社	伴走支援DX実行ノウハウ提供
神奈川県等自治体	事業実施に係るノウハウの提供
小中学校	サービスの利用・実行
教育委員会・青少年健全育成会	サービスの間接利用

■事業収支

経費項目	金額（千円）
A I 型オンラインドリル利用料	5,825
授業支援機能利用料	3,644
オンラインヘルプデスク利用料	2,364
経費合計	11,833

収入項目	金額（千円）
新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）	5,917
収入合計	5,917

■事業実施状況

KPI②	単位	1 年目		2 年目		3 年目	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
AIドリル教材の利用回数（ログイン回数）	率	70	60.4	72		74	
現状・課題・今後の取り組み等	令和7年9月に導入したミライシードについて、同時期に授業で利用する端末のOS変更があり、本サービスの利用が十分に進まなかった。また、本サービスの各種機能の理解が十分でない教員も多く、普及啓発が十分にできなかった。今後はICT支援員による普及啓発や、教育委員会職員による効果的な事例の紹介を通し、利用率向上を図る。						

[illegible]